エクストリームウィンターチャレンジ2007　尾瀬檜枝岐大会

尾瀬檜枝岐大会優勝＆総合優勝チームコメント

いや～んばか～ん　清水　直樹　さん

2007年のウインターエクストリームシリーズの最終戦が、雪の降りしきる尾瀬桧枝岐で開催されました。思えば、僕たちは去年のこの大会（昨年は第2戦でした）に初めて参加し、そのときがとても楽しくて、以来、毎回エントリーすることになりました。前回の高山大会は相方のチェンジがありましたが、今回は嫁に戻ってクロカンスキーチームの復活です。ちなみに、今回も僕たちだけがクロカンスキーでした。

今回のコース設定は、前半が山岳コースで、急な尾根登りと長い林道下りが組み合わさり、途中4つのチェックポイント（CP0～CP3）が設けられていました。この尾根登りはクロカンスキーではとても行動できず、板をはずして、つぼ足で歩きました。嫁はリタイアしたくなるほど疲労したようで、最高点のCP2に達したときは8位になっていました。その後の、ゆるい下りはスキーの天下です。スノーシューは下りでも体力を使いますが、スキーはほとんど体力を使わずにスピードが出ます。途中、林の中を登るCP3を経て、スタート＆フィニッシュ地点のCP4まで下った時点で、僕たちはわずかの差ながら1番手に立っていました。

CP4はチームチャレンジで、スタッフチームとスノーバレーボールを行ないました。7点先取で決着し、スタッフチームに負ければ10分のペナルティが課せられます。僕たちは、なんとか勝つことができましたが、毎回いろいろなゲームを考えつくものだと感心します。

レース後半は、平坦な雪道をしばらく進んだ後、急斜面の林の中などに設けられたチェックポイント3ヵ所を好きな順に回って、また来た道を戻るという、スピードが求められる設定でした。後半戦は、僕たちを含めた上位3チームが優勝を争っていました。3チームとも異なる順にチェックポイントを回り、帰路の雪道に戻ったときは、先頭から3番手まで1分以内の差でした。そして、そのままの順位でゴールしました。

たぶん、クロカンスキーチームの最初の優勝だと思います。なんとなくクロカンスキーを代表するみたいで、うれしいです。そして、シリーズ優勝も頂いてしまいました。

このレースはスキーオリエンテーリングと違い、不整地が主で、スケーティングスキーの使用は不向きです。ですから、クロカンスキーでも特にツーリング（歩くスキー）の愛好者の皆さん、来シーズンはぜひ一緒に参加しませんか。そしてスノーシューチームとのバトルを盛り上げましょう。